

UFC壁高欄

新素材

軌道

カルバート

ホーム

LRT

埋設型枠

擁壁

貯留・浸透

耐震補強

推進

横引き

地盤改良



特長

屋外という厳しい環境条件における長期的な耐久性向上、薄肉軽量化による施工性の向上、供用時におけるメンテナンスフリーの実現、所要の遮音性能の確保、景観性の向上などを目的として開発された鉄道用壁高欄です。

超高強度+高じん性+高耐久性を有する超高強度繊維補強コンクリート『ダクトル』を材料とすることにより、一般的なコンクリート製品に比べ、軽量化、耐久性に大きく優れています。

① 安全な部材性能

超高強度および高じん性を兼ね備えた材料により、薄肉・軽量化が図られました。部材安全性は、静的および疲労載荷試験（200万回）により確認しています。

② 高い耐久性

土木学会「超高強度繊維補強コンクリートの設計・施工指針（案）」に適合した材料を使用しており、塩害、中性化、凍結融解などの厳しい環境下に対しても高い耐久性が証明されています。

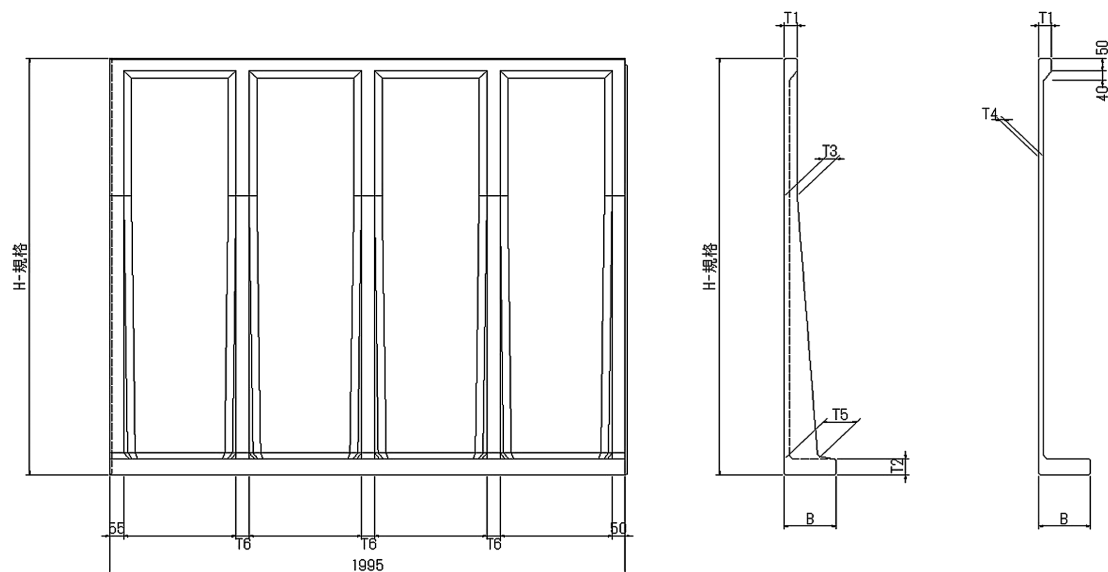
③ 施工性の向上

薄肉軽量化により施工の合理化、省力化、急速施工を実現し、大幅な工期短縮が可能となります。

④ 騒音への配慮

所要の遮音性能を満足することを、音響透過損失測定により確認しています。

● 形状



標準規格

(単位: mm)

規格	B	T1	T2	T3	T4	T5	T6	参考質量 (kg)
H-1000	200	50	65	50	20	85	50	180
H-1100	200	50	65	50	20	85	50	190
H-1200	200	50	65	50	20	85	50	200
H-1300	200	50	65	50	20	110	50	230
H-1400	200	50	65	50	20	110	50	240
H-1500	200	50	65	50	20	110	50	260
H-1600	200	50	65	50	20	130	50	280
H-1700	200	50	65	50	20	130	50	300
H-1800	200	50	65	50	20	130	50	310
H-1900	200	50	65	50	20	150	50	340
H-2000	200	50	65	50	20	150	50	350
H-2100	250	50	65	50	20	150	70	420
H-2200	250	50	65	50	20	150	70	430
H-2300	250	50	65	50	20	160	80	470
H-2400	250	50	65	50	20	160	80	490
H-2500	250	50	65	50	20	160	80	500
H-2600	250	50	65	50	20	180	90	570
H-2700	250	50	65	50	20	180	90	580
H-2800	250	50	65	50	20	180	90	600
H-2900	250	50	65	50	20	190	90	640
H-3000	250	50	65	50	20	190	90	660

新素材

軌道

カルバート

ホーム

LRT

埋設型枠

擁壁

貯留・浸透

耐震補強

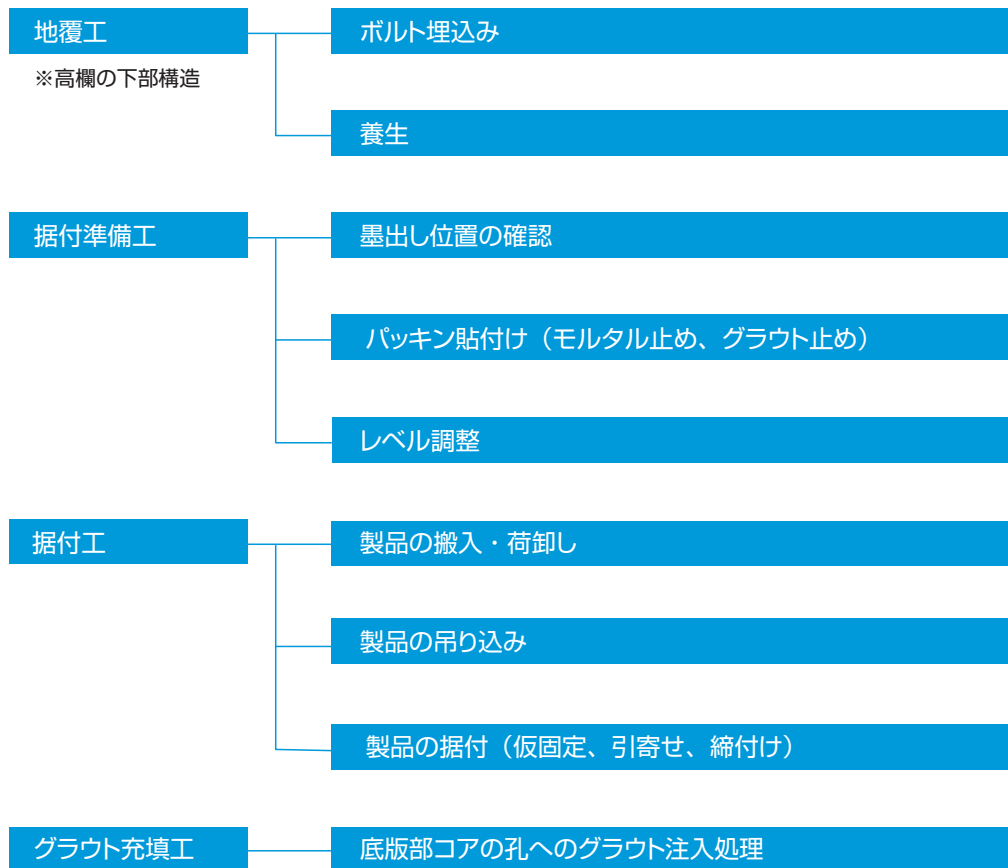
推進

横引き

地盤改良

UFC壁高欄

施工手順



● 施工実績

東日本旅客鉄道株式会社	JR 我孫子駅～ JR 取手駅	施工延長 L=900m
阪神電気鉄道株式会社	魚崎駅～ 芦屋駅	施工延長 L=6400m
近畿日本鉄道株式会社	河内天美駅	施工延長 L=800m

新素材

軌道

カルバート

ホーム

LRT

埋設型枠

擁壁

貯留・浸透

耐震補強

推進

横引き

地盤改良

施工事例



新素材

軌道

カルバート

ホーム

LRT

埋設型枠

擁壁

貯留・浸透

耐震補強

推進

横引き

地盤改良